

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和4年 9月 3日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県栗東市伊勢落470-2

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社 オーネスティー  
代表取締役 吉野友一

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項  
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) ]  
[事業者行動報告書を作成 ]  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社 オーネスティー 代表取締役 吉野友一
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県栗東市伊勢落470-2

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社 オーネスティー					
事業所の所在地	滋賀県栗東市伊勢落470-2					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	7	8	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 内装工事業
事業の概要	内装工事仕上業					
従業員の数	1	人	作業時間	9	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	16 台
	コンプレッサ	台	空気調和設備	1 台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和4	年度	報告対象年度	年度
	終了 年度	令和4	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

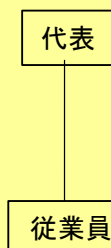
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

### 1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

内装仕上業として、持続可能なCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会実現のために環境に配慮を努めてまいります。

1. 省エネルギー・省資源に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化に取り組みます。
3. 環境保全に関連する法規制を遵守します。
4. この方針を具現化し維持するとともに、全従業員に周知徹底します。

### 2 取組の推進体制



環境方針の審議、現状把握の承認  
計画見直しの審議、環境方針の立案・策定  
計画見直しの立案、現状の確認  
各所属へ検討課題の指示

### 3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

令和4年7月 省エネ診断受診 空調設備の更新・開口部の断熱により、事務所全体のエネルギー使用量の約19.3%の削減になると助言を受けた

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	既存の空調設備を高効率空調に更新する(CO <sub>2</sub> 排出量0.82t-CO <sub>2</sub> 削減)	令和4年度	
2	設備導入	開口部に内窓を設置することにより断熱性能を高める(CO <sub>2</sub> 排出量0.29t-CO <sub>2</sub> 削減)	令和4年度	
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
令和3年度を基準年度として CO <sub>2</sub> 排出量1.11t-CO <sub>2</sub> 削減を目指します  ・既存の空調設備を高効率空調に更新することにより CO <sub>2</sub> 排出量0.82t-CO <sub>2</sub> 削減目標  ・開口部に内窓を設置することにより断熱性能を高めることにより CO <sub>2</sub> 排出量0.29t-CO <sub>2</sub> 削減目標  基準年度 令和3年度より約19.3%削減を目指します	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	単位	計画開始年度 前年度の 実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	4					
温室効果ガス 総排出量	t-CO <sub>2</sub>	6	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	6					
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推 移		0.02					

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。